



心豊かでたくましく自ら学び続ける青木つ子

# 青木の風



令和7年11月27日 青木小学校だより NO.9

～児童の活動を中心とした日々の学校の様子は、学校ホームページに掲載しています～

## 学校保健委員会「みんなちがって みんないい」

～自分らしく輝くためにどんなことができるだろう～

今月5日にPTA保健厚生委員会主催「第2回学校保健委員会」を実施しました。今回は4年生を対象に、「思春期の心の変化」をテーマとした学習を行いました。学習では、地域の喜劇団『笑劇波』のみなさまに、本校の実態に合わせたオリジナル脚本『みんなちがってみんないい～自分らしく輝くためにどんなことができるだろう～』の劇を上演していただきました。



子どもたちは劇を楽しみながら、登場人物のやりとりを通して体や心が変化していく思春期について理解を深めました。また、それぞれの違いを認め合い、自分も友達も輝けるように過ごすためにはどのような工夫ができるか、真剣に考えることができました。

### 子どもたちの振り返り

- ・人を見た目で判断したら、その人のいいところを見逃しちゃってお友達もできなくなっちゃうし、自分が男の子の遊びでもやりたいと思ったら恥ずかしがらずに一緒に遊べばいいと分かりました。
- ・男がやるもの、女がやるものと決めつけたり、責めたりはせずに、自分のやりたいことをやっていいんだな、と思いました。そして、友達のいいところなどを気づいたりすることもいいなと思いました。
- ・成長するのは体だけではなく、心も成長するのが分かって、心をもっと成長させたいと思いました。人と違うことをからかわずに、いいところとしてとらえることができると思います。人と違うところをいいところと思い、他にとらわれず、自分がやりたいと思うことをやつたらいいんじゃないかなと思います。
- ・自分で自分のよさを見つけたり、みんなのいいところを見つけたりする。男女差別をしない。男子の気持ちも考え、思いやりを大切にする。自分は世界に一人だけだから、みんなと違ういいところを自分で作る。

## とよた地域クラブ活動『とよクラ』について

豊田市では、これまでの中学校部活動に代わる新しい仕組みである「とよた地域クラブ活動（とよクラ）」の取組を進めています。スポーツや文化活動を通して、子どもたちが地域社会とつながり、生涯にわたって活躍できる「人づくり」「まちづくり」を進めるもので、令和8年9月1日から開始となります。部活動がなくなるわけではなく、地域学校共働本部、地域の指導者が主体となり、活動場所や時間は現在の部活動を基本とした内容になります。



詳しくは実家庭に配付した「とよた地域クラブ活動『とよクラ』について」をご参照ください。また、豊田市のホームページをご覧ください。